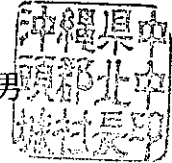




北中建第 365 号
平成20年10月30日

国土交通省道路局長 殿

北中城村長 新垣 邦男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。貴職におかれましては、平素から社会基盤の整備にご尽力をいただき感謝申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました、標記の件について、別紙のとおり回答致します。

今後の道路行政について

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

沖縄県北中城村

北中城村は、中南部の中核都市を結ぶ位置にあり北中城インターチェンジが立地するなど、本島中南部の交通の要衝となっております。

一方、交通の利便の良さから交通渋滞の慢性化とともに、生活道路への通過交通の進入がみられ、国道や県道等の幹線道路の整備促進が求められています。

しかしながら、現行の制度の道路整備においては、地元の裏負担が多いため財政的負担により事業執行に期間を要している状況であります。

よって地元の裏負担を軽減し、国費を充当する事により、事業の進捗が図れるものと思われれます。

今後の道路行政について

②－１地域の現状と抱える課題

様式 ②

沖縄県北中城村

○現状

北中城村は、沖縄本島の中部に位置し、那覇から東北部へ約 16 km、面積は約 11.53km²である。本村においては、現在アワセゴルフ場跡地利用計画が進められているところであり、中央部には複合型商業交流施設ゾーンが計画されており、地区内の交通を円滑に誘導するために、道路計画において、沖縄環状線及び国道 330 号への交差点計画を行なう計画となっております。

課題

国道 330 号への交差点計画においては、ライカム交差点からの交差点間隔、又は国道 330 号の現況の勾配との交差点取付の問題等、今後協議が必要となります。また今後は地区内の幹線道路及び補助幹線道路計画について、補助金導入を行う必要があるため、導入にあたっての採択基準の緩和等により財政的にも軽減されるものと思われます。

今後の道路行政について

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

沖縄県北中城村

本村の道路整備については、地域特性を活かした、緑豊かで快適な道路づくりを基本に、交通量に対応した国道、県道の整備促進と、村道の整備充実に努めます。

また、地域住民が自主的なまちづくり活動が行なえるよう、村民が行政・地域情報を共有できるよう、多様な手段による情報の提供を進め、協働で進めるまちづくりをめざします。